

の促進に関する研究」(研究代表者：加藤慎吾)に協力し、全国保健所を対象に、保健所の HIV 検査相談を利用した妊婦の受検動機等に関する調査を行なう。

(倫理面への配慮)

調査研究に関しては、個人情報の守秘を遵守する。

C. 研究結果

① 「HIV 母子感染予防対策マニュアル」の改訂：

平成 24 年度に改訂項目の検討、執筆者の選定などを行い、平成 25 年度に改訂作業を行った「HIV 母子感染予防対策マニュアル」第 7 版には、当研究班が継続している日本全国の疫学調査結果や国内外の新知見への改訂だけでなく、診療体制、スクリーニング偽陽性など当班の研究課題の成果も盛り込んだ。その項目を以下に記す。

I. HIV 感染症の現状

A. 世界における HIV/AIDS の現状

B. わが国における HIV/AIDS の現状 平成 24

(2012) 年エイズ発生動向 — 概要 —

1. 結果

(1) HIV 感染者の報告数

① HIV 感染者

② AIDS 患者

(2) 感染経路

① HIV 感染者

② AIDS 患者

(3) 外国国籍報告

(4) 推定される感染地域および報告地

2. まとめ

C. わが国における HIV 感染妊娠の現状

1. 研究方法

(1) 産婦人科小児科統合データベースの更新および解析

(2) 産婦人科調査

(i) 病院調査

(ii) 診療所調査

(iii) 小児科調査

(iv) 倫理面への配慮

2. 成績

(1) HIV 感染妊婦の集計結果

(i) 産科・小児科統合解析結果

(ii) 地域別・年次別分布

(iii) 国籍別・年次別分布

(iv) 妊婦転帰の年次推移

(2) HIV 母子感染予防対策の実施状況とその効果

(i) HIV 感染妊婦への抗ウイルス薬投与について

(ii) HIV 母子感染率

(iii) HIV 感染妊娠の転帰場所

(3) 感染児 52 例の検討

(i) 母子感染 52 例の年次報告数

(ii) 母子感染 52 例の都道府県別報告数

(iii) 母子感染 52 例の妊婦の国籍

(4) 妊婦 HIV 抗体検査実施率(病院および診療所調査)

II. HIV 母子感染予防対策

A. 現時点での日本における HIV 母子感染予防の原則

B. 妊婦 HIV 検査

1. 妊婦 HIV 検査の意義

2. 検査前の説明

(1) HIV 検査の現状

(2) 妊婦 HIV 検査前の説明

3. 検査結果の説明

(1) スクリーニング検査(一次検査)の結果が陰性の場合

- (2) スクリーニング検査（一次検査）の結果が陽性の場合
 - (i) スクリーニング検査（一次検査）の陽性的中率が低いこと
 - (ii) 検査結果説明の実際
- (3) 確認検査が陽性の場合
 - (i) 確認検査で陽性の妊婦に対する配慮
 - (ii) 告知の実際
- (4) 未受診妊婦における HIV 緊急検査の必要性

C. 妊娠中の対応

1. HIV 感染妊婦の心理的な課題

- (1) 留意すべき HIV 感染妊婦の心理面の課題とその対応
 - (i) 混乱や動揺
 - (ii) 一過性の反応としての精神状態の不安定さ
 - (iii) 感染に対する罪悪感や負い目
- (2) 支援の持ち方について
 - (i) 長期的な視野での関わりの重要性
 - (ii) 患者の生き方（女性として）を踏まえて
 - (iii) 多文化の視点
 - (iv) 援助者自身の支援体制

2. HIV 感染妊婦に対する支援

- (1) 妊娠継続にかかわる自己決定の支援
- (2) サポート形成
 - (i) 病気を知っている支援者の獲得
 - (ii) 支援ネットワークの拡大
 - (iii) 経済基盤の確保（社会資源の活用）
 - (iv) 外国人に対する支援

婦の受け入れについて

- 3. HIV 感染妊娠に必要な妊娠初期検査
- 4. 抗ウイルス療法
 - (1) 概説
 - (2) 抗 HIV 薬の選択
 - (i) 抗 HIV 薬による HIV 母子感染予防
 - (ii) 抗 HIV 薬投与の基本

表 2 主に使用される抗 HIV 薬とその安全性

表 3 各種抗 HIV 薬の安全性：FDA（米国食品医薬品局）の基準 2010 年

- (3) 抗 HIV 薬の開始時期
 - (i) 抗ウイルス薬を内服している HIV 感染者が妊娠した場合
 - (ii) 抗ウイルス薬を内服したことがない (Antiretroviral naive) HIV 感染者が妊娠した場合
 - (iii) 抗ウイルス薬を以前に内服していたが現在無治療の HIV 感染者が妊娠した場合
- (4) 抗ウイルス薬の中止の仕方
- (5) 特殊な状況
 - (i) B 型肝炎の合併
 - (ii) C 型肝炎の合併
- (6) 抗 HIV 薬投与後のモニタリングと対応
 - (i) 治療効果と副作用のモニタリング
 - (ii) ウイルスコントロールが失敗した場合
 - (iii) 注意が必要な薬剤
 - (iv) 妊娠中の抗ウイルス薬投与時に考慮すべきこと
 - (v) 服薬アドヒアランス育成に対する支援

表 5 HIV 感染妊婦に対するケアフローチャ

参考：HIV/AIDS 医療体制における HIV 感染妊

ート

5. 分娩時期と分娩方法

(1) 分娩時期

- (i) 帝王切開術の時期に関する解説
- (ii) 分娩時期に関するこれまでの報告

(2) 分娩方法

- (i) 経膣分娩を選択せざるを得ない場合
- (ii) 経膣分娩時の対応と注意点

6. 切迫早産・前期破水時の対応

7. 妊婦糖尿病 (GDM) の対応

8. 産科診療における注意点

(1) 外来診療における合併症への注意点

- (i) 妊娠と HIV 感染の相互におよぼす影響
- (ii) 合併頻度の高い感染症
- (iii) 胎内感染のリスク

(2) 看護上の注意点

- (i) 外来 (妊婦健診など) での注意点
- (ii) 病棟 (入院中) の注意点
- (iii) 病棟看護の実際
- (iv) 感染防止
- (v) 器材の消毒法の例

表 1 産科時の看護ケア・指導項目

表 2 産褥フローチャート

D. 分娩時の対応

1. 分娩時・帝王切開時に使用する薬剤

2. 病棟での術前準備と術後ケア

- (1) 入院後 (または入院前)
- (2) 手術前日
- (3) 手術当日
- (4) 術後ケア

3. 実際の手術にかかわる留意点

(1) 時間的余裕をもって臨む

(2) 慣れた術式で行う

(3) ノータッチテクニック

(4) シミュレーション

(5) 輸血に関して

(6) 子宮収縮薬について

4. 手術に必要な人員

5. 手術時の防護具

6. 手術時の準備

7. 新生児の処置

(1) 清拭の準備

(2) 新生児の受け取り、処置

(3) 胎盤計測、臍帯血採取

8. 手術室の後片付け

参考 帝王切開手術でご出産の皆様へ

資料: HIV 感染症合併妊婦の帝王切開術クリティカルパスの参考例

E. 分娩後の対応

1. 児への対応

(1) 出生後管理の実際

(2) 出生児への抗ウイルス薬の予防的投与

(i) AZT シロップ投与方法

(ii) 在胎 35 週未満の早産児に対する投与方法

(iii) ATZ 投与による副作用

(iv) AZT 投与期間の短縮

(v) AZT を含めた併用療法 (対象は正期産児のみ)

(3) Pneumocystis carinii (jiroveci) pneumonia : PCP の予防

(i) 対象

(ii) 方法

(4) 新生児・乳幼児における診断基準

(i) 検査時期

(ii) 感染の診断

(iii) 非感染の診断

(5) 抗ウイルス薬に曝露した非感染児の追跡観察

(6) 予防接種の進め方

(i) 不活化ワクチンについて

(ii) 生ワクチンについて

資料：HIV 感染症合併妊婦から出生した新生児クリティカルパスの参考例

2. 母体への対応

(1) 抗 HIV 療法

(2) 母乳への対応

(i) 止乳の必要性

(ii) 止乳に使われる薬剤

(3) 退院指導

(i) 産後の性生活

① 性交の開始時期

② 避妊の必要性とその方法

(ii) 服薬継続に関する支援

F. 未受診妊婦（いわゆる飛び込み分娩）の対応について（まとめ）

参考 日常生活に役立つコンドーム情報

III. その他の関連する HIV 感染予防対策

A. 院内での感染予防対策

1. スタンダードプリコーション（標準 予防策）

(1) 手指衛生

(2) 防護用具の適切な使用

(3) 患者に使用した器具および器材の取り扱い

(4) 患者環境の管理

(5) リネンの取り扱い

(6) 血液媒介病原体の曝露予防（針刺し・切創対策）

2. 汚染事故発生時の対応

血液・体液曝露事故（針刺し事故） 発

生時の対応

B. これから妊娠を希望する HIV 感染者への対応

1. 妊娠前の HIV 感染者への対応

2. 性交による HIV 感染を回避できる妊娠

(1) 妻が HIV 感染者で夫が陰性の場合

(2) 夫が HIV 感染者で妻が陰性の場合

3. HIV 感染女性診察上の注意点

(i) 内科

(ii) 婦人科

参考 HPV ワクチン、他の感染症の合併対策（梅毒 HBV HCV）

IV. 参考資料

A. 医療情報の入手先と支援団体

1. HIV/AIDS 関連のウェブサイト

2. ACC と各ブロック拠点病院のウェブサイト

3. 支援団体紹介

4. エイズ派遣カウンセリング制度実施自治体一覧（平成 22 年 10 月末現在）

5. 平成 25 年度 中核拠点病院相談事業実施期間一覧

6. 外国人支援団体（通訳、電話相談）

B. HIV/AIDS 関連用語集

C. 妊婦 HIV 検査（一次検査）で結果が陽性だった方へ

D. 主な抗 HIV 薬の添付文書

E. 付録

改訂第 7 版を平成 26 年 3 月に発刊し、全国のエイズ拠点病院、産科診療病院施設、小児科診療病院施設、保健所・保健センターなどへ送付した。今年度も教育施設も含め関連各施設からの依頼に対応し追加送付している。

②HIV 母子感染予防の普及・啓発：

平成 23 年度に発刊した感染女性に特化した解説書「女性のための Q&A 第 3 版」(一般向け・医療者向け)を改訂に際しては、各年代別にその年代の特徴(起こりやすい疾患や社会生活のイベントなど)と陽性女性が抱える課題を一つの表にまとめることで、読者が HIV に感染しながら生活していくことがより易しく理解できることを目指した。また、医療者向け Q&A の改訂については、多くの医療者が実際の対応の際に Q&A(医療者向け)ではなく、さらに詳細に記載されている「母子感染予防対策マニュアル」を参考に行わなかった。以下に項目を列記する。

目次

Part 1 HIV 感染症について

- Q 1. HIV 感染症はどのような病気ですか？
- Q 2. どのような治療を行いますか？
- Q 3. 必要な診察や検査は何ですか？
- Q 4. 日常生活で注意することは何ですか？
- Q 5. 病気の感染を防ぐ方法はありますか？
- Q 6. 病気について伝えるメリットはありますか？
- Q 7. 仕事との両立は可能でしょうか？
- Q 8. 医療費はどのくらいかかりますか？

Part 2 女性のライフステージにおける特徴

- Q 9. 各ライフステージで気をつけることは何ですか？
- Q10. 妊娠・出産はできるでしょうか？
- Q11. 母子感染を防ぐにはどうすればよいのでしょうか？
- Q12. 育児に関して知っておくべきことはありますか？
- Q13. 妊娠・出産に役立つ社会資源はありますか？

Part 3 相談や情報収集ができる場所

Q14. 相談をしたり情報を得られる場所がありますか？

資料 1 支援団体紹介

資料 2 ACC とエイズ治療拠点病院リスト

平成 27 年 3 月には発刊、全国のエイズ拠点病院はじめ関係各機関に送付した。

また国民向け普及・啓発活動として、以下の公開講座を行った。

・第 19 回 AIDS 文化フォーラム in 横浜 (2012 年 8 月 4 日 かながわ県民センター) タイトル「+の女性も -の女性も ?の女性も?!」

・第 20 回 AIDS 文化フォーラム in 横浜 (2013 年 8 月 3 日 かながわ県民センター) タイトル「女性にとっての HIV 感染と性感染症～性感染症と HIV 陽性女性の妊娠出産、育児についてかんがえよう～」

・第 21 回 AIDS 文化フォーラム in 横浜 (2014 年 8 月 2 日 かながわ県民センター) タイトル「女性の健康について」

・第 3 回 AIDS 文化フォーラム in 京都 (2013 年 10 月 5 日 同志社大学今出川キャンパス良心館) タイトル「+の女性も -の女性も ?の女性も?!」

・第 4 回 AIDS 文化フォーラム in 京都 (2014 年 10 月 4 日 同志社大学新町キャンパス尋真館) タイトル「女性にとっての HIV 感染と性感染症～性感染症と HIV 陽性女性の妊娠出産、育児についてかんがえよう～」

③妊婦 HIV スクリーニング検査偽陽性への対応：

平成 24～25 年度にかけて、全国エイズ拠点病院 361 施設と 2011 年年間分娩 1,000 件以上の一般産科施設 62 施設の計 423 施設に調査状を送付し、184 施設から回答を得た(回収率:43.5%)。回答のあった施設の年間分娩数の総和(年間分娩総数)は 104,532 分娩、スクリーニング検査実施

率は全施設で 100%であり、スクリーニング検査総数も 104,532 件であった。スクリーニング検査陽性件数は 108 件、うち確認検査陽性（感染者）は 7 件、偽陽性は 101 件だった。調査対象群における HIV 感染妊娠の発生率は 0.0067%だった。

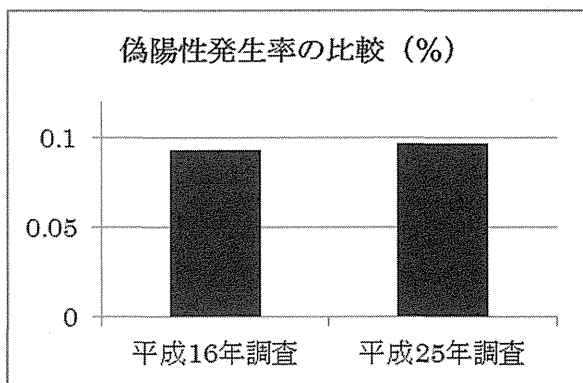
平成 16 年度の調査結果との比較を以下に記す。

スクリーニング検査の検査法に関しては、平成 16 年は抗原抗体同時検査法が導入されて間もない時期であり、少数のエイズ拠点病院を除くほとんどの一般施設では抗体検査法によるスクリーニングを行っていた。今年度調査では、従来通り抗体検査法によっている施設が 29 施設、抗原抗体同時検査法を使用している施設 99 施設、不明 52 施設であった。半数以上の多くの施設が抗原抗体同時検査によるスクリーニング検査に移行したことになる。

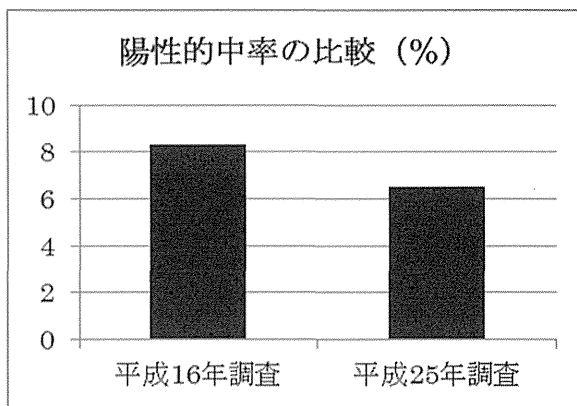
(偽陽性件数 : 101 件) ÷ (スクリーニング検査総数 : 104,532 件) で表される偽陽性発生率は 0.97%であり、平成 16 年調査の 0.093%とほぼ同等であった (図 1)。

また (確認検査陽性件数 : 7 件) ÷ (スクリーニング検査陽性件数 : 108 件) で示す陽性的中率は 6.5%で、平成 16 年調査結果の 8.3% (7 件/84 件) と有意な差は認められなかった (図 2)。

(図 1)

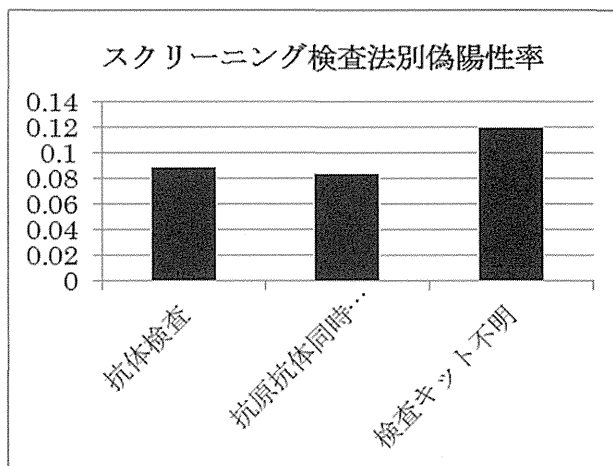


(図 2)



検査法ごとの偽陽性発生率は、抗体検査で 0.089% (18/20,180)、抗原抗体同時検査では 0.084% (45/53,668) とほぼ同等で、検査方法による差は認められなかった (図 3)。

(図 3)



1) HIV スクリーニング検査陽性の告知時期は、確認検査まで済ませてから告知する施設は 5%に過ぎず、他はスクリーニング検査陽性時に告知し確認検査の必要性を伝えていた。

2) HIV 感染に関わる妊婦への対応で苦慮するものとして、「妊婦の家族 (夫や両親)」が最も多く、次いで「スクリーニング検査陽性」の説明の仕方が多かった。

3) 大多数 (92%) の施設が、検査時の説明・対応に関わるマニュアルを希望していた。

4) 他機関からの紹介妊婦の受け入れ経験は 18%で、そのうちで妊婦自身が偽陽性も含め陽性

の意味の理解が十分と判断されたのは 20%であった。一方妊婦の反応として「ある程度落ち着いている」との回答が 76%を占め、前回の調査（平成 19 年和田分担任での調査）と比較して今回は紹介妊婦の動揺の報告が減少している印象を受けた。

平成 25 年度から 26 年度にかけて、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」班との協同調査結果によれば、「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」に回答した保健所 493 施設（回収率 85%）のうち、平成 24 年 1 年間に妊婦からの相談事例があった保健所は 38 箇所（8%）、また妊婦の検査事例があった保健所は 43 箇所（9%）であり、保健所で検査相談を受けた理由としては、パートナーからの感染不安など HIV 感染に対する心配によるものが多かったが、妊婦健診で HIV 判定保留となり心配で相談した事例、HIV 検査を受けたが結果が不安で再受検した事例、HIV スクリーニング検査陽性後の確認検査を保健所で受けるように勧められた事例なども見られた。

また、前述の全国の医療機関に対する妊婦 HIV スクリーニング偽陽性の実態調査結果によれば、HIV スクリーニング陽性妊婦を紹介される拠点病院などの専門施設の担当者の印象は、妊婦の反応として「ある程度落ち着いている」との回答が 76%を占めており、前回の調査（平成 19 年和田分担任での調査）と比較して今回は紹介妊婦の動揺の報告が減少していた。しかし一方で、全国の大多数（92%）の施設が、検査時の説明・対応に関わるマニュアルを希望していた。両者を考え合わせると、ほぼ 100%の妊婦が検査を受検している現状で、ほとんどの妊婦 HIV スクリーニング検査は結果報告まで滞りなく進んでいるが、依然として少数と思われるが、産科施設が結果報告に苦慮するケースや、妊婦・家族が報告された結果に不

安を感じるケースが存在していることが明らかとなった。

D. 考察

①「HIV 母子感染予防対策マニュアル」の改訂：

平成 24 年度に改訂項目の検討を行い、25 年度に改訂作業を行った「HIV 母子感染予防対策マニュアル」第 7 版には、当研究班が継続している日本全国の疫学調査結果や国内外の新知見への改訂だけでなく、診療体制、スクリーニング偽陽性など当班の研究課題の成果も盛り込んである。発刊は平成 26 年 3 月、全国のエイズ拠点病院、産科診療病院施設、小児科診療病院施設、保健所・保健センターなど関係各機関に送付した。その後も教育施設はじめ他の関連各施設からの依頼に対応して追加送付している。

②HIV 母子感染予防の普及・啓発：

国民向け普及・啓発活動として、平成 24 年度は第 19 回 AIDS 文化フォーラム in 横浜、平成 25 年度は第 20 回 AIDS 文化フォーラム in 横浜と第 3 回 AIDS 文化フォーラム in 京都、平成 26 年には第 21 回 AIDS 文化フォーラム in 横浜と第 4 回 AIDS 文化フォーラム in 京都に参加し市民公開講座を開催した。残念ながら一般市民の HIV に対する関心が高まってきている印象は得られず、今後も積極的に普及・啓発活動を展開する必要性が感じられた。しかし、20 年以上継続している「AIDS 文化フォーラム in 横浜」には、数は少なくとも、様々な年齢層から様々な職種の市民が参集してくれていたことは、今後も絶えることなく積極的に普及・啓発活動を展開することの重要性を示唆するものである。

一般妊婦向け HIV 検査解説リーフレット「あなた自身の健康と赤ちゃんの健やかな誕生のために」と「妊婦 HIV スクリーニング検査で結果が陽性だった方へ」は、ともに大幅な変更は行わず掲

載されている疫学データの修正にとどめた。日本産婦人科医会を通じて全国の産婦人科医に紹介された。

③妊婦 HIV スクリーニング検査偽陽性への対応：

平成 24～25 年度にかけて行った全国の拠点病院や年間分娩 1,000 件以上の一般産科施設を対象としたアンケート調査結果では、この 10 年間で一般的な HIV スクリーニング検査法が変更されたが、偽陽性の発生率、陽性的中率に大きな変化は認められなかった。

また、以前より社会問題として喚起され続けてきた、「HIV スクリーニング検査陽性妊婦に対し、確認検査の結果判明前に適切な説明やカウンセリングを行わずに陽性と告知し、妊婦の健康等に支障を及ぼすようなこと」は少なくなってきた印象を受ける。しかし産科診療施設の多くが妊婦 HIV スクリーニング検査時のマニュアルを希望しており、いまだに検査対応の具体的な指針に関するニーズが高いことも判明した。妊婦 HIV スクリーニング検査実施率はほぼ 100%となったが、検査を行う医療者、検査を受検する妊婦のいずれもが 100%安心して行っているところまでは到達していない。少なくなったとはいえ検査結果報告による社会的問題をさらに減少するために、妊婦 HIV 検査体制やスクリーニングも含めた陽性者の支援体制について、従来の検査マニュアルの改訂など具体的な改善策の検討も必要と考える。

E. 結論

①平成 24～25 年度にかけて「HIV 母子感染予防対策マニュアル第 7 版」を改訂し全国の関係施設に送付した。②HIV 母子感染予防の普及・啓発活動として、HIV 母子感染予防の普及・啓発活動として、一般妊婦向けの HIV 検査解説リーフレット「あなた自身の健康と赤ちゃんの健やかな誕生のために」と「妊婦 HIV スクリーニング検査で結果が

陽性だった方へ」を改訂し、毎年開催される「AIDS 文化フォーラム in 横浜」および「AIDS 文化フォーラム in 京都」で市民公開講座を開催した。また平成 26 年度には、感染女性向けの冊子「女性のための Q&A 第 4 版」を改訂した。医療者向けには平成 24 年第 26 回日本エイズ学会学術集会で医療支援者向けセミナー、平成 25 年第 27 回日本エイズ学会学術集会では医療支援者向けシンポジウムを開催した。③妊婦 HIV スクリーニング検査偽陽性への対応については、全国エイズ拠点病院と年間分娩 1,000 件以上の一般産科施設を対象にアンケート調査を行った結果、HIV スクリーニング検査の検査法が変更した後の 10 年間で、偽陽性の発生率、陽性的中率に大きな変化は認められなかった。また、社会問題として喚起されていた「HIV スクリーニング検査陽性妊婦に対し、確認検査の結果判明前に陽性を告知し、妊婦の健康等に支障を及ぼすこと」も少なくなっているようである。平成 25～26 年度にかけて行った保健所の HIV 検査相談を利用した妊婦の実情に関する調査結果、様々な理由から保健所で検査相談を利用している妊婦事例がいまだに少なからず存在することが明らかとなった。

F. 研究発表

刊行物

- 1) 平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班：平成 25 年度 HIV 母子感染予防対策マニュアル第 7 版，2014.
- 2) 平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班：女性のための Q&A—貴女らしく生きるために—第 4 版，2015.

1. 論文発表

欧文

- 1) Kondo M, Lemey P, Sano T, Itoda I, Yoshimura Y, Sagara H, Tachikawa N, Yamanaka K, Iwamuro S, Matano T, Imai M, Kato S, and Takebe Y. Emergence in Japan of an HIV-1 variant associated with MSM transmission in China: First indication for the international dissemination of the Chinese MSM lineage. : J Virol. 87: 5351-5361, 2013.
- 2) Takeshi Nishijima, Hiroyuki Gatanaga, Hirokazu Komatsu, Misao Takano, Miwa Ogane, Kazuko Ikeda, Shinichi Oka. High Prevalence of Illicit Drug Use in Men Who Have Sex with Men with HIV-1 Infection in Japan: PLoS ONE. Dec. 2013.
- 3) Saitoh A, Nagata S, Saitoh A, Tsukahara Y, Vaida F, Sonobe T, Kamiya H, Naruse T, Murashima S. Perinatal Immunization Education Improves Immunization Rates and Knowledge: A randomized controlled trial. Preventive Medicine. 56(6): 398-405, 2013.
- 4) Hironori, T., Noriyoshi, W., Rika, S., Hiroaki, A., Makiko, E., Aiko, S., Yuki, T., Takahiko, K., Haruhiko, S. Increased rate of cesarean section in primiparous women aged 40 years or more: a single center study in Japan. Arch Gynecol Obstet. 285: 937-941, 2012.

和文

- 1) 辻麻理子, 山本政弘, 外川正生, 井村弘子, 和田裕一, 塚原優己: HIV 母子感染児の告知支援に関する解析と対策の評価. 日本エイズ

学会誌. 16(3) : 176-184, 2014

- 2) 塚原優己: 第4章 治療と管理・対応 妊産婦と HIV 感染, 母子感染. 最新医学別冊 新しい診断と治療の ABC 65 (満屋裕明編集) HIV 感染症と AIDS 改訂第2版. 最新医学社 231-243, 2014
- 3) 満屋裕明, 白阪琢磨, 高田昇, 塚原優己: Q&A 形式 Case Study 妊娠7か月目のモデル・女優が職業の HIV 陽性の若年女性への対応. HIV 感染症と AIDS の治療. 5(2) : 52-61, 2014
- 4) 塚原優己: 脳性麻痺に至った子宮内感染 (絨毛膜羊膜炎) の胎児心拍数モニタリングの特徴. 日産婦誌. 66 (9) : 2197-2200, 2014
- 5) 塚原優己: II. 産科から見た周産期感染症 5. 妊婦梅毒. 周産期医学第44巻増刊号周産期感染症 2014. 44 : 64-70, 2014
- 6) 塚原優己: II. 産科から見た周産期感染症 5. 妊婦のクラミジア感染症. 周産期医学第44巻増刊号周産期感染症 2014. 44 : 101-106, 2014
- 7) 谷口晴記, 千田時広, 塚原優己: 産科編 VII 偶発合併症妊娠 HIV. 臨床婦人科産科 2014 増刊号 産婦人科処方ofのすべて すぐに使える実践ガイド. 68(4) : 101-106, 2014
- 8) 塚原優己, 喜多恒和, 外川正生, 吉野直人, 谷口晴記: 特集: 女性と感染 up to date 9. HIV 感染症. 産婦人科の実際. 62(11) : 1473-80, 2014
- 9) 塚原優己: 読み方がわかる! 説明できる! 産科の臨床検査ディクショナリー 血液検査 HIV 抗体. ペリネイタルケア 2014 年新春増刊. 429:44-47, 2014
- 10) 塚原優己: 読み方がわかる! 説明できる! 産科の臨床検査ディクショナリー 血液検査 梅毒血清反応. ペリネイタルケア 2014 年新春増刊. 429:48-50, 2014

- 11) 花岡正智, 塚原優己: 読み方がわかる! 説明できる! 産科の臨床検査ディクショナリー 血液検査 HBs 抗原. ペリネイタルケア 2014 年新春増刊. 429:36-38, 2014
- 12) 花岡正智, 塚原優己: 読み方がわかる! 説明できる! 産科の臨床検査ディクショナリー 血液検査 HCV 抗体. ペリネイタルケア 2014 年新春増刊. 429:39-40, 2014
- 13) 谷口晴記, 塚原優己, 山田里佳, 田中浩彦, 伊藤譲子, 鳥田部邦明, 千田時弘, 小林良成, 井澤美穂, 朝倉徹夫, 吉野直人, 外川正生, 喜多恒和, 稲葉憲之, 和田裕一: 本邦における HIV 母子感染予防対策について. 日本産婦人科・新生児血液学会誌. 22 (2): 69-73, 2013
- 14) 佐野貴子, 近藤真規子, 吉村幸浩, 立川夏夫, 相楽裕子, 井戸田一朝, 山中晃, 須藤弘二, 加藤真吾, 今井光信: HIV-1 p24 抗原検出感度が向上した改良型 HIV 抗原抗体同時検出試薬の検討. 感染症学雑誌. 87(4): 415-423, 2013
- 15) 井戸田一朝, 星野慎二, 沢田貴志, 佐野貴子, 上田敦久, 加藤真吾, 今井光信: コミュニティーセンター「かながわレインボーセンター SHIP」の夜間 HIV/STIs 即日検査を受けた MSM (men who have sex with men) の特徴及び罹患率. 日本公衆衛生学雑誌. 60(5): 253-261, 2013
- 16) 岸田修二, 大金美和: 知っておきたい長期マネジメントのポイント「脳血管障害のマネジメント」. HIV BODY AND MIND. 2(1): 73-8, 2013
- 17) 明城光三, 和田裕一, 五味洸秀人, 蓮尾泰之, 吉野直人, 喜多恒和, 外川正生, 稲葉憲之, 塚原優己: 感染症症候群 (第 2 版) - 症候群から感染性単一疾患までを含めて - 下 臓器別感染症編 X III. 先天性母子感染症 HIV 母子感染. 日本臨床 25:703-707, 2013
- 18) 塚原優己, 喜多恒和, 外川正生, 吉野直人, 谷口晴記: 特集: 母子感染 up to date: HIV 感染症. 産婦人科の実際 62: 1473-1480, 2013
- 19) 塚原優己: 日本産婦人科医会共同プログラム 1. 産科医療補償制度: 事例から見た脳性まひ発症の原因と予防対策 3. 分娩中の発熱に関連した脳性まひ. 日本産科婦人科学会誌 65 (10): N221-N224, 2013
- 20) 塚原優己: シーンで学ぶ産婦人科診療ガイドライン 2011. CQ612. 妊娠中に HTLV-1 抗体陽性が判明した場合は?. ペリネイタルケア 32 (1): 72-74, 2013
- 21) 塚原優己: 性器クラミジア感染症 - 何が問題か? -. BIRTH (ペリネイタルナーシング) 2 (1): 37-43, 2013
- 22) 稲葉憲之, 大島教子, 稲葉未知世, 伊藤志峯, 岡崎隆行, 西川正能, 渡辺博, 深澤一雄, 吉野直人, 喜多恒和, 外川正生, 明城光三, 和田裕一, 塚原優己: 性感染症と母子感染 - 最新の診断と管理 - 母子感染 HIV/AIDS. 臨床婦人科産科. 67 (1): 163-170, 2013.
- 23) 谷口晴記, 田中浩彦, 鳥谷部邦明, 千田時弘, 井澤美穂, 伊藤譲子, 朝倉徹夫. 性感染症と母子感染 - 最新の診断と管理 - 母子感染 梅毒. 臨床婦人科産科. 67(1): 76-82, 2013
- 24) 塚原優己: CQ301 「不妊症の原因検索としての初期検査は?」 2) 周産期医療の立場から. 日本産科婦人科学会誌. 64(9): N192-N195, 2012
- 25) 蓮尾泰之, 明城光三, 和田裕一, 吉野直人, 林公一, 喜多恒和, 塚原優己, 外川正生, 稲葉憲之: Human Immunodeficiency Virus (HIV) 陽性妊婦への医療側の対応 - HIV 母子感染予

防における HIV 拠点病院の現状-。医療。

66(2) : 49-54, 2012

- 26) 和田裕一, 塚原優己, 吉野直人. HIV 母子感染防止とその限界. 臨床とウイルス. 40(1) : 14-19, 2012
- 27) 今野秀洋, 塚原優己. 子宮収縮薬使用時の留意点. 臨床婦人科産科. 66(2) : 166-172, 2012

2. 学会発表

海外

Hitomi Shioda : Currwnt situation of &care for female HIV-infected patients in Japan. The 5th Japan-Korea Joint Symposium on HIV/AIDS, 12/07/2013, Seoul, Korea,

国内

- 1) 谷口晴記, 山田里佳, 千田時広, 井上孝実, 蓮尾泰之, 林公一, 喜多恒和, 大島教子, 明城光三, 和田裕一, 稲葉憲之, 塚原優己 : わが国独自の「HIV 母子感染予防対策マニュアル」改訂第 7 版について. 日本産科婦人科学会第 66 回学術講演会, 東京, 2014.4.19
- 2) 木所稔, 國吉香織, 清田直子, 横井一, 佐野貴子, 皆川洋子, 中田恵子, 竹田誠 : ムンプスの国内サーベイランスネットワークの構築の試みと近年国内で流行するムンプスウイルスの分子系統学的解析. 第 55 回日本臨床ウイルス学会, 札幌, 2014.06.14
- 3) 佐野貴子, 加藤真吾, 今井光信 : 保健所等無料 HIV 検査施設における HIV 検査相談の実施状況調査. 第 73 日本公衆衛生学会総会, 宇都宮, 2014.11.05
- 4) 近藤真規子, 佐野貴子, 椎野禎一郎, 今井光信, 武部豊, 加藤真吾 : 日本における HIV-1 組換え型流行株 (CRF) および孤立型組換えウイルス (URF) の新生. 第 62 回日本ウイルス学会学

術集会, 横浜, 2014.11.10

- 5) 佐野貴子, 山田里佳, 矢永由里子, 近藤真規子, 塚原優己, 今井光信, 加藤真吾 : 保健所の HIV 検査相談を利用した妊婦の受検動機等に関する調査. 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2014.12.03
- 6) 杉浦敦, 喜多恒和, 藤田綾, 吉野直人, 外川正生, 塚原優己 : 最近 5 年間の HIV 妊娠とその背景に関する検討. 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2014.12.04
- 7) 喜多恒和, 吉野直人, 外川正生, 杉浦敦, 藤田綾, 高橋尚子, 中西美紗緒, 箕浦茂樹, 松田秀雄, 高野政志, 桃原祥人, 小林裕幸, 佐久本薫, 太田寛, 石橋理子, 大島教子, 明城光三, 戸谷良造, 稲葉憲之, 和田裕一, 塚原優己 : わが国における HIV 感染妊娠 857 例の臨床的疫学的検討. 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2014.12.04
- 8) 田中瑞恵, 細川真一, 外川正生, 葛西健郎, 前田尚子, 多和昭雄, 榎本てる子, 辻麻里子, 井村弘子, 塚原優己, 松下竹次, 菊池嘉, 岡慎一 : HIV 陽性妊婦から出生した児の長期予後に關する全国調査. 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2014.12.05
- 9) 吉野直人, 喜多恒和, 高橋尚子, 伊藤由子, 杉山徹, 竹下亮輔, 外川正生, 戸谷良造, 稲葉憲之, 和田裕一, 塚原優己 : 妊婦 HIV スクリーニング検査実施率と他の感染症との比較. 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2014.12.04
- 10) 近藤真規子, 佐野貴子, 椎野禎一郎, 井戸田一朗, 山中晃, 岩室信也, 吉村幸浩, 立川夏夫, 今井光信, 武部豊, 加藤真吾 : 日本で検出した HIV-1 組換え型流行株の解析. 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2014.12.04
- 11) 井戸田一朗, 星野慎二, 佐野貴子, 近藤真規子,

- 金子典代：ハッテン場における HIV 感染リスク低減に向けた意識合同調査（第 2 報）. 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会，大阪，2014.12.04
- 12) 須藤弘二，藤原宏，佐野貴子，近藤真規子，井戸田一朗，今井光信，長谷川直樹，加藤真吾：次世代シークエンサーを用いた HIV 感染時期推定法の研究. 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会，大阪，2014.12.04
- 13) 須藤弘二，佐野貴子，近藤真規子，今井光信，加藤真吾：HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査（2013）. 第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会，大阪，2014.12.04
- 14) 竹下亮輔，吉野直人，喜多恒和，伊藤由子，杉山徹，外川正生，戸谷良造，稲葉憲之，和田裕一，塚原優己：我が国の病院における妊婦 HIV スクリーニング検査の現状と他のスクリーニング検査との比較. 日本性感染症学会第 27 回学術大会，神戸，2014.12.07
- 15) 塩田ひとみ，吉野直人，喜多恒和，外川正生，稲葉憲之，和田裕一，塚原優己：シンポジウム 7（臨床）なかなか減少しない HIV 感染妊娠・いまだ散発発生する HIV 母子感染 4) 女性 HIV 感染者への療養支援～性感染症予防と妊娠について. 第 27 回日本エイズ学会・総会，2013 年 11 月 22 日，熊本市.
- 16) 吉野直人，喜多恒和，外川正生，稲葉憲之，和田裕一，塚原優己. シンポジウム 7（臨床）なかなか減少しない HIV 感染妊娠・いまだ散発発生する HIV 母子感染 1) 妊婦 HIV 検査の現状と課題. 第 27 回日本エイズ学会・総会，2013 年 11 月 22 日，熊本市.
- 17) 喜多恒和，吉野直人，外川正生，稲葉憲之，和田裕一，塚原優己. シンポジウム 7（臨床）なかなか減少しない HIV 感染妊娠・いまだ散発発生する HIV 母子感染 2) わが国における HIV 感染妊婦の動向と近年の特徴. 第 27 回日本エイズ学会・総会，2013 年 11 月 22 日，熊本市.
- 18) 稲葉憲之，塚原優己，吉野直人，喜多恒和，外川正生，明城光三，大島教子，和田裕一，戸谷良造：HIV 母子感染対策におけるわが国の努力とその成果-諸外国の実状と比較して-. 第 27 回日本エイズ学会・総会，2013 年 11 月 22 日，熊本市.
- 19) 山田里佳，谷口晴記，千田時広，矢永由里子，佐野貴子，明城光三，喜多恒和，外川正生，吉野直人，大島教子，和田裕一，稲葉憲之，塚原優己：妊婦 HIV スクリーニング検査の偽陽性に関する調査-2004 年調査と比較して-. 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会，2013 年 11 月 22 日，熊本市.
- 20) 矢永由里子，山田里佳，谷口晴記，千田時広，佐野貴子，喜多恒和，外川正生，吉野直人，大島教子，明城光三，稲葉憲之，和田裕一，塚原優己：妊婦 HIV スクリーニング検査の調査による検査時対応の現状と課題の検討. 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会，2013 年 11 月 22 日，熊本市.
- 21) 佐野貴子，井戸田一朗，川畑拓也，千々和勝己，須藤弘二，近藤真規子，今井光信，加藤真吾，研究協力民間クリニックの先生方：民間クリニックにおける HIV 即日検査の導入支援および結果解析. 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会，2013 年 11 月 22 日，熊本市.
- 22) 大金美和，池田和子，中家奈緒美，木下真里，塩田ひとみ，小山美紀，伊藤紅，照屋勝治，田沼順子，塚田訓久，瀧永博之，菊池嘉，岡慎一：HIV 感染血友病患者の包括的視点による支援特性の実態調査. 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会，2013 年 11 月 22 日，熊本市.
- 23) 須藤弘二，佐野貴子，近藤真規子，今井光信，加藤真吾：HIV 郵送検査に関する実態調査と検

- 査精度調査 (2012). 第 27 日本エイズ学会学術集会・総会, 2013 年 11 月 22 日, 熊本市.
- 24) 近藤真規子, 佐野貴子, 井戸田一朗, 吉村幸浩, 須藤弘二, 立川夏夫, 山中晃, 岩室紳也, 今井光信, 武部豊, 加藤真吾: 中国の MSM 間で大流行している HIV-1 CRF01_AE variant の日本への流入. 第 27 日本エイズ学会学術集会・総会, 2013 年 11 月 22 日, 熊本市.
- 25) 井戸田一朗, 星野慎二, 佐野貴子, 近藤真規子, 金子典代: ハッテン場における HIV 感染リスク低減に向けた意識行動調査. 第 27 日本エイズ学会学術集会・総会, 2013 年 11 月 22 日, 熊本市.
- 26) 山田里佳, 谷口晴記, 千田時広, 矢永由里子, 佐野貴子, 喜多恒和, 外川正生, 吉野直人, 大島教子, 塚原優己: 妊婦 HIN スクリーニング検査の偽陽性に関する調査—2004 年と比較して—. 日本性感染症学会第 26 回学術大会, 2013 年 11 月 16 日, 岐阜市.
- 27) 大金美和, 久地井 寿哉, 柴山志穂美, 岩野友里, 柿沼章子, 大平勝美, 田中純子, 島田 恵, 池田和子, 岡 慎一: HIV 感染血友病等患者の医療福祉における課題と連携に関する研究. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013 年 10 月 23 日, 津市.
- 28) 谷口晴記, 塚原優己, 山田里佳, 伊藤譲子, 鳥谷部邦明, 千田時広, 田中浩彦, 朝倉徹夫, 吉野直人, 外川正生, 喜多恒和, 稲葉憲之, 和田裕一. 母子感染 HIV 母子感染予防対策の現状と課題. 第 22 回日本産婦人科・新生児血液学会, 2012 年 6 月, 津市.
- 29) 谷口晴記. HIV 感染妊娠及び出生児の全国調査から見えてきたもの～臨床的・社会的問題への対応. 第 26 回日本エイズ学会セミナー, 2012 年 11 月, 横浜市.
- 30) 3. 吉野直人, 喜多恒和, 伊藤由子, 杉山徹, 高橋尚子, 外川正生, 戸谷良造, 稲葉憲之, 和田裕一, 塚原優己. 妊婦 HIV スクリーニング検査実施率の変遷. 第 26 回日本エイズ学会, 2012 年 11 月, 横浜市.
- 31) 喜多恒和, 中西美紗緒, 箕浦茂樹, 松田秀雄, 高野政志, 岩田みさ子, 小林裕幸, 佐久本薫, 石橋理子, 杉浦敦, 藤田綾, 吉野直人, 外川正生, 戸谷良造, 稲葉憲之, 和田裕一, 塚原優己. HIV 感染妊婦の動向と母児感染予防対策. 第 26 回日本エイズ学会, 2012 年 11 月, 横浜市.
- 32) 吉野直人, 喜多恒和, 伊藤由子, 杉山徹, 高橋尚子, 外川正生, 戸谷良造, 稲葉憲之, 和田裕一, 塚原優己. 日本における HIV 母子感染と妊婦 HIV スクリーニング検査実施率の変遷. 第 25 回日本性感染症学会, 2012 年 12 月, 岐阜市.
3. 講演 (公開講座)
- 1) 塚原優己: 脳性麻痺に至った子宮内感染(絨毛膜羊膜炎)の胎児心拍数モニタリングの特徴. 日本産科婦人科学会第 66 回学術講演会日本産婦人科医会共同プログラム 症例から学ぶシリーズ(1) 産科医療補償制度原因分析委員会報告から. 東京, 2014.04.20
- 2) 平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班. (研究代表者: 塚原優己): 女性の健康について. 第 21 回 AIDS 文化フォーラム in 横浜. 横浜, 2014.08.02
- 3) 平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班. (研究代表者: 塚原優己): 女性にとっての HIV 感染と性感染症—性感染症と HIV 陽性女性の妊娠出産、育児に関して、現状を知り、1人の女性と

して考えよう。第4回 AIDS 文化フォーラム in 京都. 京都, 2014.10.04

- 4) 平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班. 女性にとっての HIV 感染と性感染症～性感染症と HIV 陽性女性の妊娠出産、育児についてかんがえよう～. 第 20 回 AIDS 文化フォーラム in 横浜、2013 年 8 月 4 日、横浜市.
- 5) 平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班. +の女性も-の女性も?の女性も?!. 第 3 回 AIDS 文化フォーラム in 京都、2013 年 10 月 5 日、京都市.
- 6) 塚原優己: わが国における HIV 感染妊娠の現状と課題～厚労省エイズ対策研究事業「HIV 母子感染の疫学調査および女性・小児感染者支援に関する研究」班の全国調査結果～. 平成 23 年度 ICD 講習会. 2013 年 11 月 17 日、水戸市.
- 7) 塚原優己: 妊婦健診に係る母子感染の課題と保健指導のポイント. 平成 25 年度茨城県新生児マスキング及び母子感染防止研究会. 2014 年 2 月 16 日、水戸市.
- 8) 平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班. +の女性も-の女性も?の女性も?!. 第 19 回 AIDS 文化フォーラム in 横浜、2012 年 8 月、横浜市.

G.知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

妊婦 HIV スクリーニング検査の偽陽性に関するアンケートのお願い
(2004 年実施フォロー調査)

HIV/AIDS 産婦人科担当医 殿

前略 先生方にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

研究事業「HIV 母子感染の疫学的調査と予防対策および女性、小児感染者支援に関する研究」班（研究代表者：塚原優己）で行っております全国調査に、毎年ご協力いただき誠にありがとうございます。同研究班の分担研究として「わが国独自の HIV 母子感染予防対策マニュアルの作成・改訂およびその啓発、普及に関する検討」に携わっております。

当研究班では、2004 年に妊婦 HIV スクリーニング検査の偽陽性に関するアンケート調査を行いました。妊婦集団における偽陽性の発生率は一般集団と同等であること、妊婦集団は HIV 感染者が極めて少ない（2004 年：0.01%）ため、陽性的中率（スクリーニング検査で陽性妊婦が真の陽性である率）が低率となることを報告致しました。またスクリーニング検査陽性であった場合の甚大な妊婦への精神的負担についても報告しました。このような 2004 年の調査結果をふまえ、研究班では様々な発行物や講演を通し、妊婦に対する HIV 検査体制やインフォームドコンセントのあり方等を提案してきました。

また近年では、全国でほとんどの妊婦が HIV スクリーニングを受検し、またスクリーニング検査方法も抗原抗体同時検査が主体となってきました。この約 10 年間で妊婦 HIV 検査をとりまく環境は大きく変化し、また妊婦自身の HIV に関する認識も向上していると思われま

す。以上を踏まえ、このたび 2004 年調査と同様の調査を行い比較することで、妊婦スクリーニング検査を取り巻く現状を把握し、現在の問題点を抽出し対応策を検討したいと考えていま

今回、

ご多忙中、誠に恐縮ですが、アンケートにご回答いただき、同封の封筒に入れて、平成 25 年 1 月末までにご返送いただきたいと思います。検査内容に関する質問につきましては、貴院検査部にご確認のうえご回答くださいますようお願い申し上げます。もしくは検査部門の HIV 検査ご担当者をご紹介いただけましたら、こちらから改めて検査部ご担当者の方に調査用紙を送付させていただきますので、その旨をご返信ください。

ご多忙中恐れ入りますがご協力よろしくようお願い申し上げます。

早々草々

24 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業分担研究：HIV 母子感染の疫学的調査と予防対策および女性、小児感染者支援に関する研究」班（研究代表者：塚原優己）

「わが国独自の HIV 母子感染予防対策マニュアルの作成・改訂およびその啓発、普及に関する検討」

（研究分担者：塚原優己）「妊婦 HIV スクリーニング検査の偽陽性に関する検討」

山田里佳 矢永由里子 谷口晴記 千田時弘

（問い合わせ） （三重県立総合医療センター 産婦人科）

山田里佳

E-mail ; m-rika@jf6.so-net.ne.jp

「妊婦 HIV スクリーニング検査の偽陽性に関するアンケート調査」質問用紙

(ご注意) 該当するものに○をつける、もしくは記入をお願いいたします。

- * 以下の質問は、すべて妊娠例を対象としたものです。
- * 文中の「HIV スクリーニング検査」は確認検査前の初回検査を意味します。
- * 数字は平成 23 年 1 年間の値をご記入ください。

質問 1 : 妊婦 HIV スクリーニング検査の実施施設

- A. 自施設の検査科
- B. 検査機関に外注 (外注の場合は検査機関名 : _____)

質問 2 : 妊婦 HIV スクリーニング検査で最初に使用する検査試薬名

質問 3 : 平成 23 年の妊婦 HIV スクリーニング検査陽性数

質問 4 : 妊婦 HIV スクリーニング検査が陽性であった場合の確認検査の方法

- A. スクリーニング検査に用いた同一血液検体で確認検査を引き続き実施
- B. 確認検査のためにあらためて採血施行
- C. 確認検査を行わずに拠点病院、その他へ紹介
- D. その他 (具体的にご記入ください : _____)

質問 5 : 妊婦 HIV スクリーニング検査が陽性であった場合の確認検査実施施設

- A. 自施設の検査科
- B. 検査機関に外注 (外注の場合は検査機関名 : _____)

質問 6 : 確認検査の検査方法

- A. WB 法のみ
- B. 核酸増幅検査法のみ
- C. WB 法+核酸増幅検査法
- D. その他 (具体的にご記入ください : _____)

質問 7 : 平成 23 年の確認検査実施数

質問 8 : 平成 23 年の確認検査陽性数

質問 9 : 平成 23 年の妊婦 HIV スクリーニング検査偽陽性者数

質問 10 : 平成 23 年の妊婦 HIV スクリーニング検査実施率

(100%あるいはリスク妊婦のみ(約 30%)等、概数でも結構ですので具体的な数値をご記入ください)

質問 11 : 平成 23 年の妊婦 HIV スクリーニング検査実施数

(概数でも結構です。集計の都合上具体的な数値をご記入ください。)

質問 12 : 平成 23 年の分娩数

(概数でも結構です。集計の都合上具体的な数値をご記入ください。)

裏もあります!

裏面

質問 13：妊婦 HIV スクリーニング検査で、「陽性」であった時の

妊婦対応についてお尋ねします。該当するものに、☑をよろしくお願ひします。

1) スクリーニング検査の「陽性」結果を、妊婦に伝えますか？

- はい。その後、確認検査の必要性を伝える。
- いいえ。確認検査を実施し、妊婦には確認検査の結果を伝える。
- その他：(具体的にご記入ください：)

2) 妊婦対応でお困りのことはありますか？該当するものを選択して下さい。(重複可)

- スクリーニング検査で「陽性が判明したこと」を伝える説明の仕方
- スクリーニング検査で「陽性でも偽陽性の確立が高いこと(なぜ偽陽性が高くなるかを含めて)」を伝える説明の仕方
- 確認検査で「陽性が判明したこと」を伝える説明の仕方
- スクリーニング検査で陽性結果を伝えたときの妊婦(反応)への対応
- 確認検査で陽性結果を伝えたときの妊婦への対応
- 妊婦の家族(夫、妊婦の両親などの反応)への対応
- 対応する際に活用できる資材(手元に無い；どこから入手してよいかわからない；使用方法 など)
- その他：具体的にご記入ください

()

質問 14：平成 20 年に、研究班では、検査時説明について「妊婦 HIV 一次検査実施マニュアル」を作成しました。このような対応マニュアルを希望しますか？

- はい
- いいえ
- その他：()

質問 15：紹介妊婦(スクリーニング検査で陽性の妊婦)の初診時の状態について

*最近(ここ 1、2 年)、スクリーニング検査実施の医療機関から、陽性が判明した妊婦(ただし、確認検査は未実施)の紹介を受けた方にお尋ねします。

1) 陽性の意味について、偽陽性の可能性も含めて妊婦は理解していたでしょうか？

- 十分
- まあまあ
- 不十分
- その他：()

2) 初診時の妊婦の様子はいかがでしたか？

- 落ち着いていた
- まあまあ落ち着いていた
- 動揺していた
- その他：()

3) 妊婦スクリーニング検査を実施後に妊婦を紹介してきた医療機関に対して、なにかご要望がありましたら、ご記入ください。

()

ご協力どうもありがとうございました。

各保健所長様

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究
研究代表者 加藤真吾 (慶應義塾大学医学部)
研究分担者 今井光信 (田園調布学園大学)

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
HIV 母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児
感染者支援に関する研究
研究代表者 塚原優己 (国立成育医療センター)

HIV 検査に関するアンケートの2次調査のお願い (依頼)

厚生労働省の研究事業につきましては、日ごろ格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

本年1月に全国保健所長会のご協力を得て行いました、「HIV 検査体制に関する全国保健所アンケート調査」の際には、大変お忙しい中にも関わらず、ご協力を頂き誠にありがとうございました。アンケート調査報告書は、ホームページ「HIV 検査・相談マップ」の「検査・相談担当者の方へ」ページ (<http://www.hivkensa.com/tantousha/>) に掲載されておりますので、ご一読いただければ幸いです。

今回、前述アンケートにおきまして、設問2. ⑤H.およびI.の妊婦からの HIV 相談事例あるいは受検事例があったと回答された保健所に2次調査へのご協力をお願いしております。

このたび厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班との協力で、保健所において HIV 相談・検査を受けた妊婦について、どのような経緯で相談・検査を受けるに至ったかを調査することにより、産婦人科医療機関での HIV 検査対応のあり方を検討する際の参考にしたいと思っております。

大変お忙しいところ恐縮ではございますが、別紙のアンケート用紙にご回答の上、平成26年10月10日(金)までに、返信用封筒にてご返信いただけますようお願い申し上げます。

記

1 調査目的 妊婦が保健所で HIV 相談・検査を受けた経緯を調査する。

2 調査票回答者 保健所長 あるいは HIV 検査相談事業担当者

3 調査票回答期限 平成26年10月10日(金)

4 調査票回答方法

返信用封筒による郵送

宛先 〒253-0087 茅ヶ崎市下町屋 1-3-1

神奈川県衛生研究所 微生物部 佐野貴子 (アンケート集計担当)

(本調査に関する問い合わせ先)

下記メールにより今井光信宛にお願い致します。

Email: kensahan@m10.alpha-net.ne.jp

保健所における妊婦の HIV 相談・検査に関する調査

このアンケートは、保健所・保健センターで HIV 相談・検査を受けた妊婦について、どのような経緯で相談・検査を受けたのかを調査することにより、産婦人科医療機関での HIV 検査対応のあり方を検討する際の参考にしたいと思っております。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

(アンケート集計結果は研究班の報告書としてまとめ、報告するとともに、学会・学会誌等に発表することがあります。原則として発表データは集計結果のみを使用し、個別の保健所が分かる形では特別に許可を得た場合を除き公表することはありません。)

保健所名: _____ 所属: _____

連絡担当者名: _____ 職種: 医師・保健師・事務・その他()

連絡先: TEL _____ FAX _____ E-mail _____

* 平成25年1～12月の期間中に、妊婦で HIV/エイズの相談をされた方、あるいは HIV 検査を受けた方についてお答えください。

<ここでは、妊婦の HIV/エイズの『相談』事例について教えてください>

1. 昨年1年間の妊婦の HIV/エイズに関する相談数を教えてください → (例)
2. 相談内容について教えてください。下記の当てはまる項目に丸をつけてください(複数回答可)。相談が複数例ある場合には各例について個別にお答えください。

1例目 (年代) 16～25 歳 ・ 26～35 歳 ・ 36～45 歳代 ・ 46 歳以上 ・ 不明
(国籍) 日本籍 ・ 外国籍 ・ 不明
(妊娠月数) _____ ヶ月 (_____ 週) ・ 不明
(産科医療機関の受診) あり ・ なし ・ 不明

- ① 妊娠したが HIV 感染が心配 →→ 心配な理由は? ()
- ② 他の性感染症に感染している →→ 性感染症の種類は? ()
- ③ 中絶を検討している
- ④ 医療機関から保健所に相談するように勧められた
→→ 医師からどのような説明がされたのか分かりましたら教えてください。
()
- ⑤ その他 →→ 具体的に教えてください。
()

2例目 (年代) 16～25 歳 ・ 26～35 歳 ・ 36～45 歳代 ・ 46 歳以上 ・ 不明
(国籍) 日本籍 ・ 外国籍 ・ 不明
(妊娠月数) _____ ヶ月 (_____ 週) ・ 不明
(産科医療機関の受診) あり ・ なし ・ 不明

- ① 妊娠したが HIV 感染が心配 →→ 心配な理由は? ()
- ② 他の性感染症に感染している →→ 性感染症の種類は? ()
- ③ 中絶を検討している
- ④ 医療機関から保健所に相談するように勧められた
→→ 医師からどのような説明がされたのか分かりましたら教えてください。
()
- ⑤ その他 →→ 具体的に教えてください。
()

→ 3例目からは別紙(相談)にお答えください。

→ 裏面 <HIV「検査」について>に続きます。

<ここでは、妊婦の HIV『検査』事例について教えてください>

1. 昨年1年間の妊婦の HIV 検査数を教えてください → (例)
2. 検査を希望した理由を教えてください。下記の当てはまる項目に丸をつけてください(複数回答可)
検査が複数例ある場合には各例について個別にお答えください。

1例目

(年代) 16~25歳 ・ 26~35歳 ・ 36~45歳代 ・ 46歳以上 ・ 不明
(国籍) 日本籍 ・ 外国籍 ・ 不明
(妊娠月数) _____ヶ月 (_____週) ・ 不明
(産科医療機関の受診) あり ・ なし ・ 不明
(パートナーの同伴検査) あり ・ なし
(HIV/エイズ相談) あり (相談事例_____例目と同一人物) ・ なし

- ① 妊娠したが HIV 感染が心配なため →→ 心配な理由は?()
- ② 他の性感染症に感染していたため →→ 性感染症の種類は?()
- ③ 医療機関で保健所に検査に行くように勧められたため
→→ どのような説明がされたのか分かりましたら教えてください。
()
- ④ 医療機関では検査は有料であるが保健所では無料なため
- ⑤ まだ医療機関に受診していないため
- ⑥ 検査を受けたいがどこで受けたらよいのか分からないため
- ⑦ 妊娠後の性交渉による新たな HIV 感染が心配なため
- ⑧ 中絶を検討しているため
- ⑨ その他 →→ 具体的に教えてください。
()

2例目

(年代) 16~25歳 ・ 26~35歳 ・ 36~45歳代 ・ 46歳以上 ・ 不明
(国籍) 日本籍 ・ 外国籍 ・ 不明
(妊娠月数) _____ヶ月 (_____週) ・ 不明
(産科医療機関の受診) あり ・ なし ・ 不明
(パートナーの同伴検査) あり ・ なし
(HIV/エイズ相談) あり (相談事例_____例目と同一人物) ・ なし

- ① 妊娠したが HIV 感染が心配なため →→ 心配な理由は?()
- ② 他の性感染症に感染していたため →→ 性感染症の種類は?()
- ③ 医療機関で保健所に検査に行くように勧められたため
→→ どのような説明がされたのか分かりましたら教えてください。
()
- ④ 医療機関では検査は有料であるが保健所では無料なため
- ⑤ まだ医療機関に受診していないため
- ⑥ 検査を受けたいがどこで受けたらよいのか分からないため
- ⑦ 妊娠後の性交渉による新たな HIV 感染が心配なため
- ⑧ 中絶を検討しているため
- ⑨ その他 →→ 具体的に教えてください。
()

→→3例目からは別紙(検査)にお答えください。

◇妊婦の相談・検査対応についてお困りのことや研究班で対応して欲しいことがありましたら余白にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。